

資料III－3

供給者に対する意見照会結果

質問事項	割合(%)
<b>●全分野共通</b>	
政府調達に関する年度当初の提供情報の活用	
a 有益であり、積極的に活用している	34.5%
b 時々活用している	48.3%
c 活用していない	17.2%
個々の調達案件に関する情報提供方法の利便性等	
a 十分満足できる	17.2%
b ある程度満足できる	75.9%
c 不満足である	6.9%
「政府調達における我が国の施策と実績」について	
a 満足しており、活用している	13.8%
b ある程度満足している	37.9%
c 不満足	3.4%
d 利用したことがないので分からぬ	44.8%
調達実績一覧のホームページ掲載について	
a 満足しており、活用している	11.1%
b ある程度満足している	55.6%
c 不満足	7.4%
d 掲載されていることを知らなかつた	25.9%
随意契約、指名競争の縮減による競争性、透明性の確保	
a 十分確保されている	35.7%
b ある程度確保されている	42.9%
c 確保されていない	21.4%
応札期間の延長について	
a 便益を受けている	56.0%
b 特に便益を受けていない	44.0%
資料提供招請・意見招請の基準額(80万SDR)	
a 適当である	85.7%
b 引下げが必要である	10.7%
c 引上げが必要である	3.6%
総合評価落札方式について	
a 適正な評価、競争性の確保に十分寄与している	13.8%
b " に一定程度寄与している	65.5%
c " に寄与していない	10.3%
d 総合評価落札方式による実績がないので分からぬ	10.3%
苦情処理制度活用の検討	
a 苦情処理制度の活用を検討したことがある	12.5%
b 苦情処理制度の活用を検討したことがない	71.9%
c 苦情処理制度について十分な知識を持ち合わせていない	15.6%

質問事項	割合(%)
<b>●電気通信・医療技術分野共通</b>	
資料提供招請・意見招請の基準額(38.5万SDR)	
a 適当である	100.0%
b 引下げが必要である	0.0%
c 引上げが必要である	0.0%
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法	
a 適当である	41.7%
b 概ね適当である	58.3%
c 適当でない	0.0%
総合評価落札方式の導入基準額(38.5万SDR)	
a 適当である	90.9%
b 引下げが必要である	0.0%
c 引上げが必要である	9.1%
技術仕様の公平性	
a 措置どおりに行われている	33.3%
b 概ね措置どおりに行われている	58.3%
c 措置どおりに行われていない	8.3%
<b>●その他</b>	
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法 (コンピューター(含むサービス)分野)	
a 適当である	18.8%
b 概ね適当である	75.0%
c 適当でない	6.3%
総合評価落札方式の導入基準額(80万SDR) (コンピューター(含むサービス)分野)	
a 適当である	81.3%
b 引下げが必要である	18.8%
c 引上げが必要である	0.0%
「情報システムの整備及び管理に関する標準ガイドライン」による政府の取組み	
a 適当である	27.8%
b 概ね適当である	61.1%
c 適当でない	11.1%

※クエスチョンアヘは計 29 者が回答。

※四捨五入により百分率の合計が 100%にならない場合がある。

※設問に無回答の者は除いた。

※「電気通信・医療技術分野共通」、「その他」については、「当該分野の調達実績がないので分からない」という回答は除いて集計している。